

氏名	岡 本 英 之
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3122号
学位授与の日付	平成9年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	The Synovial Expression and Serum Levels of Interleukin-6, Interleukin-11, Leukemia Inhibitory Factor, and Oncostatin M in Rheumatoid Arthritis (慢性関節リウマチ滑膜及び血清におけるインターロイキン-6, インターロイキン-11, Leukemia Inhibitory Factor, Oncostatin Mの発現)
論文審査委員	教授 井上 一 教授 辻 孝夫 教授 中山 睿一

### 学位論文内容の要旨

本研究では、インターロイキン-6 (IL-6), IL-11, leukemia Inhibitory factor (LIF), oncostatin M (OSM) (IL-6-type cytokine)の慢性関節リウマチ(RA)関節局所における発現と循環中への出現を明らかにすることにより、各サイトカインのRAにおける急性期蛋白の増加への関与を検討した。関節滑膜のサイトカインmRNAの発現はRT-PCR法を用いて検討し、培養滑膜細胞上清、関節液、血清中のサイトカイン濃度はELISA法を用いて測定した。さらにRA滑膜における産生細胞はパニング法により分離した細胞と継代化線維芽細胞を用いて検討した。いずれのIL-6-type cytokineもRA滑膜では過剰に産生されていた。IL-6, LIF, IL-11は主に滑膜線維芽細胞より産生され、OSMは滑膜マクロファージより産生された。しかし血清ではIL-6のみが検出されCRPとの相関を認め、RAにおける急性期蛋白の増加には滑膜線維芽細胞由来のIL-6のホルモン様作用が重要と考えられた。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論文審査結果の要旨

本研究は慢性関節リウマチにおける関節局所のIL-6, IL-11, leukemia inhibitory factor (LIF), oncostatin M (OSM) の出現とこれらの血清中での検出を行ったもので、関節由来のIL-6が急性期蛋白の増加に深く関与することを明らかにした。これらの重要な知見を価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。